

中 国 語

科目責任者 小鳥遊 信 子
学年・学期 1 学年・通年

一
学
年

I. 前 文

日本における世界に類を見ない超高齢化の進行によって、医療界には新たな需要がもたらされる一方で、少子化による労働人口の減少が見込まれている。その結果、外国人労働者の受け入れに関して様々な条件緩和策が検討され、今後、日本社会はより多くの外国人を抱えた多文化共生社会へと変貌することは言うまでもない。

現在、在日外国人中で最も大きな割合を占めているのは中国人で、医療界においては今後、中国人に対する診療場面、中国人コメディカルとの協働場面が増加することが考えられる。

また、東アジアに急増する富裕層による、日本の先進医療受診への要請は年々高まっており、中国に限らず、東南アジア地域からの中国語を母語とする先進医療受診のための来日者も年を追って増加することが予想される。

本科目では、上記のような状況の下で、将来の医療従事者が直面するであろう中国人とのコミュニケーション場면을念頭に、基礎的中国語の習得や中国事情に対する理解を促進する。

II. 担当教員

非常勤講師 小鳥遊 信 子

III. 一般学習目標

1. 現代中国語の文の基本的な構成を理解する。
2. 日常会話や簡単なコミュニケーションができる。
3. 今後継続的に中国語を勉強するための基礎を築く。

IV. 学修の到達目標

1. 正しい発音ができる。
2. 基本文法を理解し、応用できる。
3. 簡単な挨拶、日常会話ができる。
4. 簡単な中国語の文章を理解する。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。）
2：ディスカッション、ディベート 3：グループワーク 4：実習、フィールドワーク 5：プレゼンテーション
6：その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブラーニング
1	4	19	水	3	発音① 声調 単母音	小鳥遊 信 子	1
2		19	水	4	発音② 複母音 挨拶・自己紹介	小鳥遊 信 子	1
3		26	水	3	発音③ 子音 声調記号のつけ方	小鳥遊 信 子	1
4		26	水	4	発音④ 鼻母音 軽声 声調変化 r 化	小鳥遊 信 子	1
5	5	10	水	3	発音練習 声調の組み合わせ 親族名称 人称代名詞	小鳥遊 信 子	1

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
6	5	17	水	3	発音練習名前の聞き方と答え方 数字の表現	小鳥遊 信 子	1
7		24	水	3	名詞述語文「是」 疑問文「吗」	小鳥遊 信 子	1
8		24	水	4	名詞述語文 副詞「也」「都」	小鳥遊 信 子	1
9		31	水	3	指示代名詞	小鳥遊 信 子	1
10	6	7	水	3	疑問詞疑問文”的”の用法	小鳥遊 信 子	1
11		14	水	3	動詞述語文副詞「都」	小鳥遊 信 子	1
12		21	水	3	形容詞述語文	小鳥遊 信 子	1
13		21	水	4	一学期まとめ	小鳥遊 信 子	3
14	8	23	水	3	場所を表す前置詞「在」 存在・所有を表す動詞「有」「在」	小鳥遊 信 子	1
15		23	水	4	場所代名詞 「吧」の用法	小鳥遊 信 子	1
16		30	水	3	方位詞	小鳥遊 信 子	1
17	9	6	水	3	数量詞「几」「多少」	小鳥遊 信 子	1
18		13	水	3	年月日の言い方 時計の言い方	小鳥遊 信 子	1
19		27	水	3	前置詞「从…到」「离」	小鳥遊 信 子	1
20	10	4	水	3	完了, 状態, 変化を表す表現「了」	小鳥遊 信 子	1
21		11	水	3	副詞「还」過去の経験経験を表す表現「过」	小鳥遊 信 子	1
22		11	水	4	回数・時間など動作の量を表す表現	小鳥遊 信 子	1
23		18	水	3	助動詞「要」「想」「打算」	小鳥遊 信 子	1
24		18	水	4	二学期まとめ	小鳥遊 信 子	3
25	11	1	水	3	助動詞「能」「会」「可以」	小鳥遊 信 子	1
26		8	水	3	様態補語「～得～」選択疑問文・反復疑問文	小鳥遊 信 子	1
27		15	水	3	進行形「在」比較表現「比」語気助詞「呢」	小鳥遊 信 子	1
28		22	水	3	助詞「着」, 動詞句修飾語「又～又～」 「～再～」	小鳥遊 信 子	1
29		29	水	3	方向補語・結果補語・可能補語	小鳥遊 信 子	1
30	12	6	水	3	近未来表現「要～了」「把」の構文	小鳥遊 信 子	1
31		13	水	3	使役文表現「让」存現文 動詞の連動式「来・去」	小鳥遊 信 子	1
32		13	水	4	仮定関係「既然～就～」趣味・好みの言い方「喜欢」「跟～一样」	小鳥遊 信 子	1

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
33	1	10	水	3	二重主語 動詞の重ね式	小鳥遊 信 子	1
34		17	水	3	受身文表現「让・被」	小鳥遊 信 子	1
35		17	水	4	三学期まとめ	小鳥遊 信 子	3

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

学期定期試験の成績をもとに評価するが、レポート、出席状況や学習意欲も適宜加味する。

予習動画教材を必ず視聴すること。

事前・事後学習・LMSでの課題など必ず学習すること。

評価項目：

各授業時の確認小テスト（2割）、各期末の口頭試験（2割）、

学期期末試験（5割）、作文・提出物など（1割）

VII. 教科書・参考図書・AV資料

「教科書」

山下輝彦 著 『楽しい中国語 第一歩』 朝日出版社

「参考書」

劉建 著 『メディカル基礎中国語』 白帝社

李偉・管虹 著 『医療系中国語会話』 白帝社

早稲田大学商学部中国語教室「編著」『中国語基本単語帳』 朝日出版社

VIII. 質問への対応方法

必要に応じてプリントを配布する

質問への対応方法方法

講義中、もしくは講義後、メールで随時受け付ける。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

小テスト・期末テストの問題点についてはその都度授業内、もしくはLMSでフィードバックする。

課題はその都度回収チェックし、返却する。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

シラバス別冊に記載していますので確認すること。

予習動画教材を必ず視聴すること。

事前・事後学習・LMSでの課題など必ず学習すること。

それぞれ必要な時間はシラバス別冊に記載。

XII. コアカリ記号・番号

シラバス別冊に記載していますので確認すること。